

BS道連 R2-010
2020年6月10日

団 委 員 長 各位
地 区 委 員 長 各位
地区コミッショナー 各位

日本ボーイスカウト北海道連盟
理 事 長 三国 久介
コミッショナー 今井 建

新型コロナウイルス感染への対応について（第9報）～新しい日常にむけて～

スカウト活動再開について

（北海道連盟としての方針）

日本連盟より6月4日付で「新型コロナウイルス感染への対応について（第9報）～新しい日常にむけて～」(以下、「第9報」とします)が発信されました。

この通知を受けまして、北海道連盟といたしましても「新しい生活様式」を徹底した活動再開に向けて下記の内容をとりまとめましたので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後、各自治体や地域で対応に関する要請がある場合は、その要請に応えることとしてください。引き続き、各自治体や地域とも連携した対応をお願いいたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症に対する考え方

- ① 感染リスクはゼロにならないということを前提として、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。
- ② 「3つの密」を避ける、基本的な感染対策を行う「新しい生活様式」に対応する。
- ③ 指導者は、自らの家庭をはじめ、スカウトおよびスカウトの家庭と連携する。
- ④ 感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などを防止する。

2. 「新しい生活様式」の徹底による活動

- ① 「新しい生活様式」におけるスカウト活動については、野外（屋外）において、感染につながる可能性が高い「3つの密」をすべて避ける活動内容での実施をお願いいたします。（①密閉空間、②密集場所、③密接した会話）
- ② 日本連盟からの第9報には「感染リスクが高い活動として、キャンプなどの宿泊を伴う活動については、野外活動であっても参加者相互が長時間にわたり接触することになりますので、夏季までは行なわないでください。なお、夏季とは、通常の「夏休み期間中」までを想定し、8月末を目安としますが、今後、延長する可能性はあります」としておりますので、この点については、自粛をお願いいたします。
- ③ 隊・団からは、スカウトの保護者へ、コロナウイルス感染拡大防止のためのスカウト活動における対応を説明いただくとともに、各ご家庭での普段の生活の重要性もご理解いただくなどの連携をお願いいたします。
- ④ 新型コロナウイルス影響下で新しい日常が定着する中、感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などが危惧されています。
学校でも「3つの感染症」とした注意喚起など指導されています。これについては、以下のURLに詳しい情報がありますのでご参照ください。
「3つの感染症」日本赤十字社
http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

3. 活動再開にあたっての留意する点

活動を再開するにあたっては、スカウト、保護者の理解を得ることが何よりも大切です。十分なコミュニケーションをはかり、活動の趣旨や方法などの理解を得て、活動再開するようにお願いいたします。

北海道の地域性（広域であること）を十分にご理解いただき、各市町村はもとより振興局単位や経済圏・生活圏における感染症のまん延状況もしっかりと情報収集をしながら、活動を行うようにお願いいたします。

特に学校では、「分散登校」段階を終え、「短縮授業」に移行し、「部活動」などの実施可否状況が、スカウト活動を行ううえでの大きな目安となると思われます。

4. 活動内容について

活動毎の想定と対応例について、日本連盟の感染拡大予防ガイドライン（ホームページで公開）に掲載されております。

今後も内容を更新されますので、確認をお願いいたします。

- 屋内での活動の場合、例えば通常よりも大きい部屋を使うなど、密集を避け、定期的に換気をするなどしてください。
- 3密を避け、マスクの着用、活動前の検温や手指等の消毒、多くの方が触れる箇所（特にドアノブ・手すり・スイッチ等）の消毒をするなど、接触感染防止の対応をお願いいたします。
- マスクを着用しての活動になることが想定されますが、熱中症対策も留意してください。学校授業でも、体育の際には十分な呼吸ができないことのリスクを回避することや熱中症予防のためマスクの着用が必須ではなくなりました。スカウト活動も同様に、状況により適切な対応をお願いいたします。
- 極力、活動中のお互いの距離を1 m以上の距離を保つように努力するようにしてください。
しかしながら、活動中ではやむを得ず近距離となってしまうこともありますので、その際は近距離になる時間を短くするなどの工夫が必要となります。セレモニーも間隔を空けて実施し、基本動作（ビーバーコールや仲良しの輪など）も状況にあわせて柔軟に対応してください。

ウイルスと共存しながら感染拡大防止に努め、

「新たなスカウティング」に取り組みましょう。

Scouting Never Stops